

第2期

奥州市まち・ひと・しごと

創生総合戦略

令和2年3月

(令和3年11月一部改訂)



奥州市

## 目次

1. はじめに .....	1
(1) 第2期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略の考え方.....	1
(2) 計画の期間 .....	1
(3) 奥州市総合計画（2017～2026）との関係.....	1
2. これまでの取組の成果と課題.....	2
(1) 第1期市総合戦略における人口目標の達成状況.....	2
(2) 第1期市総合戦略における重要業績評価指標（K P I）の達成状況.....	3
(3) 総括 .....	5
3. 第2期市総合戦略の目指すべき方向.....	6
(1) 基本方針・基本目標の継承.....	6
(2) 重視する視点 .....	6
(3) 新たな視点 .....	7
(4) 人口目標 .....	7
4. 総合戦略の基本目標の達成に向けた基本的施策.....	9
(1) 安定した雇用と新しい産業の創出.....	9
(2) 出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ.....	12
(3) 体験を通じた新たな奥州ファンの開拓.....	14
(4) 地域愛の醸成と、安心・安全に生活できる個性豊かな地域社会の実現.....	16
5. 推進に向けた留意点.....	18
(1) 庁内推進体制 .....	18
(2) 各計画等との連携.....	18
(3) P D C Aサイクルの確立とK P Iの把握.....	18
<b>【参考資料】SDGsの17の持続可能な開発目標と各施策の関連性について.....</b>	<b>19</b>

## 1. はじめに

### (1) 第2期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略の考え方

国では、急速な少子高齢化の進展、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正するため、地域での住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを課題として、平成26年11月にまち・ひと・しごと創生法（以下「法」という。）を制定しました。

さらに、法に基づき、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、総合的かつ計画的な取組を進めています。

当市においては、平成27年度に策定した「奥州市人口ビジョン」において、2060年を目標期間とした人口の将来展望・目標を定めるとともに、この人口ビジョンを踏まえての「奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第1期市総合戦略」という。）」を併せて策定しました。

この第1期市総合戦略においては、「雇用」「子育て・結婚」「移住定住」「地域愛醸成」の4つの柱での取組を打ち出し、社会減や婚姻数・出生数の減に歯止めをかけながら、合計特殊出生率を上向かせることとして令和元年度を目標年度に5か年度取組を行い、一定の成果を得ているところです。

しかし、この間、全国的な人口減少・少子高齢化は依然として深刻な状況にあり、東京一極集中にも歯止めがかかっていない状況です。

第2期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第2期市総合戦略」という。）は、法第9条の規定に基づき、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や、岩手県における「次期ふるさと振興総合戦略」を勘案したうえで、国と地方が一体となり、切れ目なく継続して取り組むための目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめるものです。

### (2) 計画の期間

第2期市総合戦略は、令和2年度から令和8年度までの7か年間で計画期間とします。

### (3) 奥州市総合計画（2017～2026）との関係

奥州市総合計画（2017～2026）においては、分野ごとの大綱を横断して取り組む戦略プロジェクトとして「誇りと幸せを実感できるまちづくりプロジェクト～人口プロジェクト～」を位置付け、その具体的な取組については、第1期市総合戦略に掲げる基本的施策を基本としながら進めることとしていたところであり、第2期市総合戦略についても引き続き、戦略プロジェクトの具体的な取組に位置付け推進していくこととします。

## 2. これまでの取組の成果と課題

### (1) 第1期市総合戦略における人口目標の達成状況

第1期市総合戦略においては、4つの基本目標を定めるとともに、それらの取組を通じて以下の人口目標の達成に向けて施策を推進してきました。

第1期市総合戦略最終年度である、令和元年度末における、それぞれの人口目標に対する実績値は、次のとおりです。

＜人口目標1＞	＜実績値＞	参考1 県全体値※3	参考2 東京圏転入超過数※1
社会増減 H26:▲373人 →R元:▲280人	H26年度:	▲373	▲2,975
	H27年度:	▲318	▲4,063
	H28年度:	▲347	▲3,708
	H29年度:	▲519	▲4,543
	H30年度:	▲295	▲5,215
	R元年度:	▲269	▲4,370

＜人口目標2＞	＜実績値＞	参考1 県全体値※1	参考2 全国値※1
婚姻届出件数 H26:503 →R元:490	H26年度:	503	643,749
	H27年度:	459	635,156
	H28年度:	440	620,531
	H29年度:	398	606,866
	H30年度:	367	586,481
	R元年度:	387	599,007

＜人口目標3＞	＜実績値＞	参考1 県全体値※2	参考2 全国値※2
出生届出数 H26:839 →R元:836	H26年度:	839	1,003,539
	H27年度:	826	1,005,677
	H28年度:	768	976,978
	H29年度:	779	946,065
	H30年度:	670	918,400
	R元年度:	633	865,239

＜人口目標4＞	＜実績値＞	参考1 県全体値※2	参考2 全国値※2
合計特殊出生率 H26:1.52 →R元:1.7	H26年度:	1.52	1.42
	H27年度:	1.64	1.45
	H28年度:	1.64	1.44
	H29年度:	1.68	1.43
	H30年度:	1.68	1.42
	R元年度:	1.68	1.36

※1総務省「住民基本台帳人口移動報告」（2010～2018/日本人人口移動者について）より

※2県保健年報（H31.3発行）より

※3岩手県政策地域部「岩手県毎月人口推計」より

## (2) 第1期市総合戦略における重要業績評価指標（KPI）の達成状況

重要業績評価指標（KPI）（以下「KPI」という。）全42指標のうち、第1期市総合戦略最終年度である、令和元年度末時点において目標値を達成していると評価された指標（【A】【B】）の割合は26指標で61.9%、それ以外（【C】【D】の割合）は16指標で38.1%でした。

- 注：達成度表記 【A】→達成している  
 【B】→概ね達成している  
 【C】→あまり達成していない  
 【D】→全く達成していない

基本目標等	KPIの達成状況	主な成果と今後の方向性
基本目標1 安定した雇用と新しい産業の創出	概ね達成 11 指標 / 全 16 指標 【A】と【B】の割合： 68.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の制度を利用した起業・創業者数、新商品開発・販路開拓支援件数、ジョブカフェ奥州等を通じて就職決定した人数などが着実な成果をあげています。</li> <li>・企業誘致は、第1期の戦略期間において目標達成しなかったものの、令和元年度新規折衝企業数が11社であり、新たな工業団地も整備に向けて動き始めたことから、さらなる誘致に向けて戦略的に取り組む必要があります。</li> <li>・外国人観光客の入込推計をはじめ、観光客入込も概ね成果を上げており、観光施設における産業の活性化に一定程度寄与したと考えます。さらなる交流人口の拡大を図るため、奥州市ならではの体験型観光を確立するとともに、関連産業をより活性化させるための効果的な取組について検討していく必要があります。</li> </ul>
①農・商・工・伝統工芸産業などの産業基盤の強化と新産業の創出 ②地の利を活かした企業誘致等による雇用拡大 ③観光を核とした交流人口の拡大により関連産業の活性化	【A】: 6指標 【B】: 5指標 【C】: 1指標 【D】: 4指標	
基本目標2 出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ	概ね達成6指標 / 全9指標 【A】と【B】の割合： 66.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の奨学金利用者ではないものの、市立病院へ医師が着任するなど、子どもを産み育てる環境が徐々に改善され始めました。一方で、待機児童ゼロの目標達成にはまだほど遠いことから、保育士確保対策事業など、今後も継続した取組を進めていく必要があります。</li> </ul>
①出会いの機会の創出 ②安心して子どもを産み育てられる環境づくり	【A】: 1指標 【B】: 5指標 【C】: 0指標 【D】: 3指標	

<p>基本目標3 体験を通じた新たな奥州ファンの開拓</p>	<p>概ね達成3指標 /全6指標 【A】と【B】の割合： 50.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥州市移住・交流情報のホームページ閲覧数や、UIターン者数の累計値で大きな成果を上げることができましたが、一部の取組には課題も見られることから、奥州市の地域資源を活かした交流人口・関係人口の取組について、創意工夫を図りながら、より一層力を入れていく必要があります。</li> </ul>
<p>①移住・定住の促進 ②移住者等の就業・起業支援 ③魅力ある奥州市の地域資源を活かした交流人口の拡大</p>	<p>【A】:2指標 【B】:1指標 【C】:0指標 【D】:3指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥州市の地域資源は限りなく潜在しているものの、まだまだその魅力を活かしきれていないと考えます。さらなる関係人口・交流人口の拡大に向け、魅力ある奥州市の地域資源を活用し、新型コロナウイルス感染症対策を契機とした新しい旅行スタイルも視野に入れながら、効果的な施策を検討していく必要があります。</li> </ul>
<p>基本目標4 地域愛の醸成と、安心・安全に生活できる個性豊かな地域社会の実現</p>	<p>概ね達成6指標 /全11指標 【A】と【B】の割合： 54.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育講座の受講者数について、各年齢層とも概ね目標達成となりましたが、特に注力した青少年の受講が目標値を確保できたことは大きく、その健全育成と地域愛の醸成に貢献したものと評価できます。</li> </ul>
<p>①生涯を通じた学習支援による、人づくりの推進 ②地域住民が主役となるまちづくりの推進 ③災害に強く、犯罪のない、安心・安全な地域づくりの推進</p>	<p>【A】:4指標 【B】:2指標 【C】:3指標 【D】:2指標</p>	
<p>合計</p>	<p>概ね達成26指標 /全42指標 【A】と【B】の割合： 61.9%</p>	<p>[総括]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の成果指標で大きな成果をあげている取組はあるものの、成果指標全体で目標値を達成した割合は6割となりました。</li> <li>・基本目標2については、多くの事業を第1期市総合戦略の期間の後半でスタートさせていることから、効果の検証については、今しばらく見守る必要があります。</li> </ul>

### **(3) 総括**

第1期市総合戦略に基づく各種事業を展開した中で、KPIにおいてはA又はBと評価される項目は概ね6割程度となりました。人口目標の中でも、社会増減と合計特殊出生率については、目標に近い数値となっています。

また、事前に実施したアンケート調査においては、「奥州市に住み続けた」と回答した人の割合は75.3%で、前回（平成27年度）調査より約4.9%アップする結果となりました。

しかし、東京圏への一極集中が依然として続いている中で、結果として人口減少の大幅な改善に結びついていない状況にあります。

人口減少の要因は様々であり、その対策も総合的、長期的な視点に立った取組が必要です。第2期市総合戦略においては、第1期市総合戦略におけるKPIや評価を検証することはもちろん、期間中においても、人口動態や社会情勢を常に意識し、必要なものを改善しながら、より実効性のある施策の展開を図る必要があります。

### 3. 第2期市総合戦略の目指すべき方向

#### (1) 基本方針・基本目標の継承

地方創生は、地域に活力を取り戻していくための息の長い取組であることから、第1期市総合戦略において根付いた意識や取組について、更にその歩みを確かなものとするために基本方針・基本目標についてはこれを継承し、より一層の充実に向け取り組みます。

##### <基本方針>

奥州市の魅力あふれる観光資源と品質の高い農畜工芸産物を内外に発信するとともに、基幹産業である一次産業の基盤強化と企業誘致の促進による雇用環境の一層の充実、そして、起業の推奨による新産業を創出し、豊かな自然と快適な都市基盤が調和した生活利便性の高いまち、子育て環境に優れたまち、そして、ふるさとに誇りをもち、幸せを実感できるまちをつくることを、第2期市総合戦略の基本方針とする。

##### <第2期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標>

- 目標1 安定した雇用と新しい産業の創出
- 目標2 出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ
- 目標3 体験を通じた新たな奥州ファンの開拓
- 目標4 地域愛の醸成と、安心・安全に生活できる個性豊かな地域社会の実現

#### (2) 重視する視点

施策の展開に当たっては、社会情勢の変化や当市の強みや弱みを考慮し、以下の視点を持って推進します。

##### ①若者に選択されるまち

若年層の東京圏への一極集中に伴う人口流出が、当市における最も大きな課題であることを踏まえ、特に若者に選択されるまちを意識した取組を進めます。

##### ②地方創生を担う人材の育成

地方創生は息の長い取組であり、その基盤をなす人材の育成、活躍の支援を重視して取り組みます。また、大学等の高等教育機関はもちろん、高等学校段階においても、地域への課題意識や貢献意識を持つことが重要であり、地域の将来を支える人材の育成を担う、これらの高等教育機関等と連携した取組を進めます。

##### ③協働の取組

地域づくりに取り組む地域自治組織やNPO、地方創生に取り組む企業等と積極的に連携し、協働での取組を進めます。

##### ④広域連携による取組

地方圏における定住の受け皿として、平成 27 年度に協定を締結した奥州市・北上市・金ヶ崎町・西和賀町定住自立圏の取組の活性化を図ります。

#### ⑤関係人口の創出・拡大

人口減少が続く中で、地域の生産性を高めていくためには、市外の人による地域の担い手としての参画が不可欠であり、地域と多様に関わる関係人口の創出・拡大を目指します。

#### ⑥誰もが活躍できる地域社会の実現

人口減少、少子高齢化が進む中で、活力のある地域社会を維持するため、女性、高齢者、障がい者、外国人など、誰もが居場所と役割を持ち、生きがいを感じながら暮らすことができる地域社会の実現を目指します。

### (3) 新たな視点

#### ①Society5.0<sup>※1</sup>の実現に向けた技術の活用

IoT<sup>※2</sup>やAI<sup>※3</sup>、ビッグデータ<sup>※4</sup>、5G<sup>※5</sup>等の科学技術を活用した超スマート社会Society5.0で実現する社会は、社会の変革（イノベーション）を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合える社会、一人一人が快適で活躍できる社会になるとされており、こうした技術活用を踏まえた取組を進めます。

#### ②総合計画・総合戦略と一体となったSDGsの推進

SDGs（持続可能な開発目標）とは、平成27年に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」における「誰一人として取り残さない」という言葉に象徴されるように、包摂性や多様性を重視しながら経済・社会・環境の課題を統合的に解決し、持続可能な社会の実現を目指すものです。17の持続可能な開発目標をそれぞれの分野における取組との関連を踏まえ、持続可能な社会の実現に向け、多様な主体においてそれぞれ連携・協働による取組を進めます。

※1 ※Society 5.0 とは、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く新たな経済社会であり、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させ、経済的発展と社会的課題の解決を両立し、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる、人間中心の社会を表すものとされています。

※2 IoT（アイオーティー）は、Internet of Things（インターネット オブ シングス）の略で、「様々な物がインターネットにつながること」「インターネットにつながる様々な物」を指しています。

※3 人工知能（Artificial Intelligence）の略。

※4 様々な形をした、様々な性格を持った、様々な種類のデータのことで、従来のデータベース管理システムなどでは記録や保管、解析が難しいような巨大なデータ群。

※5 5G（第5世代通信）。現在の4Gに続く次世代通信技術のことで、「高速大容量・低遅延・多接続性」を生かし、普及すればあらゆるものがネットワークにつながるIoT化が進むと言われています。

### (4) 人口目標

本計画期間における人口目標を以下の通りとします。

	現状(平成30年度)	将来(令和8年度)
社会増減	△295	△102* <sup>1</sup>
合計特殊出生率	1.68* <sup>2</sup>	1.88* <sup>1</sup>
総人口	117,545* <sup>3</sup>	106,264* <sup>1</sup>

\*1 人口ビジョン目標値から積算

\*2 平成29年度値（出典：岩手県保健福祉年報）

\*3 平成30年度値（出典：奥州市統計書）

## 4. 総合戦略の基本目標の達成に向けた基本的施策

### (1) 安定した雇用と新しい産業の創出

基本的施策	施策
①農・商・工・伝統工芸産業などの産業基盤の強化と新産業の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市場性の高い農畜産物の産地形成の促進</li> <li>◆地域産業の経営力・経営基盤の強化</li> <li>◆新規学卒者・若年者の地元定着支援、地域雇用の確保</li> <li>◆産学官連携の推進</li> <li>◆創業・起業の支援</li> <li>◆伝統工芸産業の振興</li> </ul>
②地の利を活かした企業誘致等による雇用拡大	◆地の利を活かした企業誘致等による雇用の拡大と工業団地の整備検討
③観光を核とした交流人口の拡大による関連産業の活性化	◆観光スポットや体験型観光による誘客促進

#### ■基本的施策ごとの取組の方向性とK P I

##### ①農・商・工・伝統工芸産業などの産業基盤の強化と新産業の創出

〈関連する奥州市版SDGs〉



県内一の生産量を誇る奥州市産の米や、前沢牛、江刺りんごなどに代表される良質な農畜産物、豊富な森林資源、県下有数の工業団地、南部鉄器、岩谷堂箆笥などの伝統工芸品など、多彩で魅力ある奥州市の産業基盤を強化するとともに、起業を促進し、魅力ある商店街を形成し、新産業を創出することで、雇用の維持・拡大を図ります。特に基幹産業である農業においては、新規就農者・担い手への支援・育成を図るほか、スマート農業<sup>\*</sup>の導入など持続可能な農業経営となるよう支援します。

<sup>\*</sup>スマート農業とは、ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化や高品質生産を実現する新たな農業のことです。

KPI (重要業績評価指標)	単位	現状 (2018年度)	将来 (2026年度)	目標設定の考え方
創業・起業化支援者数(年間)	延べ 人数	31	44	創業等セミナー・創業塾等の支援者数。
ジョブカフェ奥州等を通じて就職決定した人数	人	193	180	15人/月で現状維持に努めます。

新規高卒者の管内就職率	%	46.2	52.5	新規高卒就職者のうち、ハローワーク水沢管内への就職率。市総合計画に基づく目標値。
産学官連携に取り組んだ件数	件	10	15	50%増を目指します。
重点地域商店街の通行量	人	10,406	10,400	主要3地域の通行量(2日間)について、現状維持に努めます。
認定農業者である法人数	法人	100	120	20%増を目指します。
新規就農者数	人	31	25	市総合計画に基づく目標値。
経営体育成基盤整備事業等の水田整備面積	ha	3,975	5,084	水田整備面積の増を目指します。
市有林整備面積(年間)	ha	10.00	20.00	100%増を目指します。

### ②地の利を活かした企業誘致等による雇用拡大

〈関連する奥州市版SDGs〉



東北自動車道(水沢IC、奥州スマートIC、平泉前沢IC)、釜石自動車道(江刺田瀬IC)、国道4号、東北新幹線(水沢江刺駅)、東北本線(水沢駅、陸中折居駅、前沢駅)等広域交通の要衝である奥州市の地の利を活かし、企業誘致、企業の設備投資の円滑化を推進し、雇用の拡大を図ります。

KPI(重要業績評価指標)	単位	現状(2018年度)	将来(2026年度)	目標設定の考え方
誘致企業数(累計)	社	1	8	年間1社の県外(市外)企業の誘致を目指します。
製造業従業員数	人	10,106	10,500	生産年齢人口が年々減少する中、安定した従業員数の確保に努めます。

### ③観光を核とした交流人口の拡大による関連産業の活性化

〈関連する奥州市版SDGs〉



奥州湖周辺の豊かな自然を活かし、焼石岳周辺の観光地化を進めるとともに、えさし藤原の郷をはじめとする奥州市の豊富な観光スポットや、質の高い観光資源を活用して、世界文化遺産「平泉」などとの広域的な連携、また、既に多くの受け入れを行っているグリーン・ツーリズムやワーキングホリデーなどの奥州市ならではの体験型観光など、優れた観光資源を効果的に首都圏等へPRし、国内、海外からの誘客の促進を図ります。

KPI（重要業績評価指標）	単位	現状 (2018年度)	将来 (2026年度)	目標設定の考え方
観光客入込数	延べ 人数	2,193,597	2,569,700	対前年度比2%増を目指します。
外国人観光客入込数	延べ 人数	10,815	23,200	対前年度比10%増を目指します。
自然体験メニュー	事業	2	5	新規メニューの取組を令和3年度 まで年間1件ずつ目指し、継続し て実施します。

## (2) 出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ

基本的施策	施策
①出会いの機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆結婚サポートセンターの利用促進</li> <li>◆民間団体と連携した結婚支援の推進</li> </ul>
②安心して子どもを産み育てられる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆妊娠・出産・子育てを包括的に支援する体制の整備</li> <li>◆周産期・小児医療体制の確保充実</li> <li>◆子育て家庭にとって働きやすい環境づくりの推進</li> </ul>

### ■基本的施策ごとの取組の方向性とK P I

#### ①出会いの機会の創出

〈関連する奥州市版SDGs〉



県、市町村、民間団体等が連携して運営する“いきいき岩手”結婚サポートセンターの利用促進を図るとともに、出会い創出や婚活イベントの企画・運営団体等をサポートし、「出会い」の機会を拡充します。

KPI（重要業績評価指標）	単位	現状 (2018年度)	将来 (2026年度)	目標設定の考え方
婚姻届出件数（年間）	件	367	382	人口減少傾向であるが婚姻率の上昇により、4.1%増を目指します。

#### ②安心して子どもを産み育てられる環境づくり

〈関連する奥州市版SDGs〉



すべての子どもが健やかに育ち、また、誰もが安心して子どもを産み育てることができるよう、子育て環境の整備、各種相談機能の充実、多様な保育サービスの提供を図り、社会全体で子どもを育てられる地域づくりを進めます。また、子育てしながら働きやすい環境づくりを支援します。

KPI（重要業績評価指標）	単位	現状 (2018年度)	将来 (2026年度)	目標設定の考え方
出生届出件数(年間)	件	670	783	合計特殊出生率目標値に基づく。
不妊治療の助成件数(年間)	件	76	85	特定不妊治療・一般不妊治療助成件数。
妊娠 11 週以前の妊婦届出率	%	92.9	95.0	妊娠届出者のうち早期に届け出することを目指します。
4 か月児健康診査時の問診で育児が楽しいと回答した保護者の割合	%	92.4	98.0	4 か月児の子どもを持つ保護者の多くが、育児が楽しいと感じることを目指します。

3歳児健康診査時の問診で育児が楽しいと回答した保護者の割合	%	82.8	91.0	3歳児の子どもを持つ保護者で、育児が楽しいと感じる保護者が多くなることを目指します。
保育施設における待機児童数 (各年度10月1日現在)	人	50	0	待機児童数について、2023年度までにゼロとし、それを維持することを目指します。
放課後児童クラブへの入所希望者が入所できている割合 (各年4月1日時点)	%	100.0	100.0	就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生の入所希望者が全員入所できることを目指します。

### (3) 体験を通じた新たな奥州ファンの開拓

基本的施策	施策
①移住・定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆奥州の魅力を伝える様々な情報発信</li> <li>◆移住者を受け入れる環境の構築</li> </ul>
②移住者等の就業・起業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆東京圏等からのU I J ターン者に対する起業・就業の支援</li> </ul>
③魅力ある奥州市の地域資源を生かした交流人口・関係人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体験型観光やイベント、ふるさと応援寄附等を契機とした交流</li> <li>◆地域と多様な形で関わる関係人口の創出</li> </ul>

#### ■基本的施策ごとの取組の方向性とK P I

##### ①移住・定住の促進

〈関連する奥州市版SDGs〉



移住希望者の様々なニーズに応じた情報発信、移住に対する期待や不安に対するきめ細やかな相談体制の強化等により、奥州市への移住・定住を促進します。

KPI (重要業績評価指標)	単位	現状 (2018年度)	将来 (2026年度)	目標設定の考え方
市移住サイトの閲覧数	件	58,259	66,414	2024年度までに10%増を目指し、同じ伸び率で増加を目指します。
相談等による移住者数	人	26	61	現状値に対し、年間5人の増(平均)を目指します。

##### ②移住者等の就業・起業支援

〈関連する奥州市版SDGs〉



グリーン・ツーリズムやワーキングホリデーなど、既に数多くの受け入れを行っている団体と連携した農業体験や、空き家や田舎空間での新しいワークスタイルの提案、伝統工芸産業の紹介のほか、Iターン・Uターン者に対する補助制度等により、若い世代が安心して奥州市に移住・定住できる取組を進めます。

KPI (重要業績評価指標)	単位	現状 (2018年度)	将来 (2026年度)	目標設定の考え方
ワーキングホリデー参加者数	人	41	40	現状維持に努めます。
グリーン・ツーリズム参加団体数	団体	17	17	現状維持に努めます。

移住支援金による移住者数	人	0	14	移住支援補助金事業計画に基づく。
--------------	---	---	----	------------------

### ③魅力ある奥州市の地域資源を生かした交流人口・関係人口の拡大

〈関連する奥州市版SDGs〉



観光、ふるさと応援寄附、移住等のサイトによる奥州市の魅力発信の強化のほか、市民・事業者・行政の協働による豊かな自然の広がる風景の保全や、新たな観光資源の掘り起こしにより、交流人口の増加を促す施策を推進します。また、市と継続的で多様な関わりを持つ関係人口の拡大を目指します。

KPI（重要業績評価指標）	単位	現状 (2018年度)	将来 (2026年度)	目標設定の考え方
観光ガイドの利用者数	人	1,521	1,500	対象団体（みずさわ観光サポーターの会、いさわ散居ガイドの会、世界遺産登録候補地ガイドの会、地域ガイド団体等）現状維持に努めます。
（再掲）観光客入込数	延べ 人数	2,193,597	2,569,700	対前年度比2%増を目指します。
観光ガイドタクシーの認定者数	人	53	62	奥州・金ヶ崎観光ガイドタクシー運営委員会からの聴き取りによる。
ふるさと応援寄附件数	件	12,064	28,800	2024年度までに倍増を目指し、同じ伸び率で増加を目指します。

#### (4) 地域愛の醸成と、安心・安全に生活できる個性豊かな地域社会の実現

基本的施策	施策
①生涯を通じた学習支援による、人づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子ども等が地域の歴史・風土・文化等を学ぶ機会の確保</li> <li>◆地域への誇りを持った人材の育成</li> </ul>
②地域住民が主役となるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域住民がまちづくりへ主体的に関わり活躍できる環境づくり</li> <li>◆接続性の高い交通体系の構築</li> <li>◆地域づくりを担う人材の育成</li> </ul>
③災害に強く、犯罪のない、安心・安全な地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自助・共助を活かした地域防災の充実</li> </ul>

#### ■基本的施策ごとの取組の方向性とK P I

##### ①生涯を通じた学習支援による、人づくりの推進

〈関連する奥州市版SDGs〉



地域をつくるのは人であり、人は、生涯に渡る教育の中で生きる力を育んでいきます。市民が主体的に学ぶことができるよう、生涯学習環境を充実させることが、奥州市の未来をつくることにつながります。

特に、子どもたちは、将来の奥州市を支える宝であり、家族や地域の中で健やかに育ち、多くの偉人を輩出したこの土地の歴史、風土を学び、ふるさとに対する愛着や地域への誇りを持ちながら、ダイバーシティ\*感覚を持ち、かつ、たくましく創造力のある人材となるよう、育てていく必要があります。

※ 国籍、性別、年齢、宗教、ライフスタイルなどに固執することなく、多様な人材を受け入れ、生産性の向上や市場のニーズに対応しようとする考え方のことです。

KPI (重要業績評価指標)	単位	現状 (2018年度)	将来 (2026年度)	目標設定の考え方
社会教育講座受講者数対総人口比率	%	55.97	55.00	青少年・成人・高齢者の各講座受講者数。現状維持に努めます。
地域リーダー養成講座受講者数	人	2,145	2,200	現状維持に努めます。

## ②地域住民が主役となるまちづくりの推進

〈関連する奥州市版SDGs〉



社会情勢の変化とともに地域課題が多様化、複雑化している中において、地域住民が地域課題を自分自身の問題として捉え、その解決に取り組むことが地域に対する誇りと愛着を育むことにつながることから、地域住民が主体的にまちづくりに参画できる基盤、機運づくりを進め、市民と行政の協働によるまちづくりを目指します。

KPI（重要業績評価指標）	単位	現状 (2018年度)	将来 (2026年度)	目標設定の考え方
市内地区センター利用者数	千人	584	642	10%増を目指します。
協働の提案テーブル開催案件数	件	19	28	2020年度の実績値4件を踏まえ、制度を見直し、2021年度から毎年度+4件を目指します。

## ③災害に強く、犯罪のない、安心・安全な地域づくりの推進

〈関連するSDGsのゴール〉



自主防災組織の育成支援や防犯啓発など、常日頃から、災害に備え、防犯活動を推進し、災害に強い、犯罪のない地域づくりを目指します。

KPI（重要業績評価指標）	単位	現状 (2018年度)	将来 (2026年度)	目標設定の考え方
自主防災組織率	%	95.1	100.0	市内全域での組織化を目指します。
刑法犯発生件数	件	296	160	2024年度までに年間200件以下を目指し、その後、毎年同じ率での減少を目指します。

## 5. 推進に向けた留意点

### (1) 庁内推進体制

行政の業務・事業は、所管する各課・担当ごとに進められている。奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げた施策は、課や分野を横断的にかかわる事が多いことから、市の人口動態の調査及び人口増加に向けた具体的施策の推進を図るため設置している「奥州市人口プロジェクト推進委員会」により全庁的な体制で推進していきます。

### (2) 各計画等との連携

本戦略については、平成29年3月策定の奥州市総合計画（2017～2026）の戦略プロジェクトの取組の基本として引き続き位置付け、総合計画の下に位置付けられる各種個別計画と相互に連携・補完しながら取り組みます。

### (3) PDCAサイクルの確立とKPIの把握

戦略の実効性を着実なものにするためには、PDCAを意識することが必要です。本戦略で掲げるKPIの達成に向けて、厳しい市の財政状況のなか、限られた資源を有効活用し、優先度や効果、効率性などを総合的に判断した上で、より有効な手段を検討していきます。この進捗状況については、多様な主体からの外部委員により構成される市総合計画審議会等において、毎年の進捗状況を確認し、ご意見をいただきながら、より良い取組となるよう進めるとともに、現行の奥州市総合計画基本計画目標年度となる令和3年度において、必要に応じて本戦略等の見直しを図っていくものとします。

【参考資料】SDGsの17の持続可能な開発目標と各施策の関連性について

奥州市版SDGs		1 共に生きる社会の実現	2 おいしいと安全を届けよう	3 心身の健康としあわせをみんなに	4 自由に学べる環境をみんなに	5 お互いを尊重し合おう	6 きれいな水を今も未来も	7 豊かな自然を大切なエネルギーに	8 働きがいのあるまちをつくらう	9 先端技術を活用できるまちを目指そう	10 市民に公平なまちづくり	11 安心と魅力のあるまちづくり	12 丸ごと余さず使うまちづくり	13 気候変動にしないやかなまちづくり	14 きれいな北上川を維持しよう	15 豊かな緑を守ろう	16 誰もが安心して暮らせる社会	17 みんなが「つながる」まちづくり
基本目標1	①農・商・工・伝統工芸産業などの産業基盤の強化と新産業の創出	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○				○
安定した雇用と新しい産業の創出	②地の利を活かした企業誘致等による雇用拡大	○	○						○	○			○					○
	③観光を核とした交流人口の拡大により関連産業の活性化	○					○		○			○	○			○		○
基本目標2	①出会いの機会の創出										○						○	○
	②安心して子どもを産み育てられる環境づくり	○	○	○	○	○			○		○	○					○	○
基本目標3	①移住・定住の促進	○									○	○						○
	②移住者等の就業・起業支援	○	○		○				○	○	○	○						○
	③魅力ある奥州市の地域資源を活かした交流人口・関係人口の拡大								○	○	○		○			○		○
基本目標4	①生涯を通じた学習支援による、人づくりの推進			○	○	○	○		○		○							○
	②地域住民が主役となるまちづくりの推進			○		○	○				○	○	○			○	○	○
	③災害に強く、犯罪のない、安心・安全な地域づくりの推進	○	○	○			○	○				○	○			○	○	○